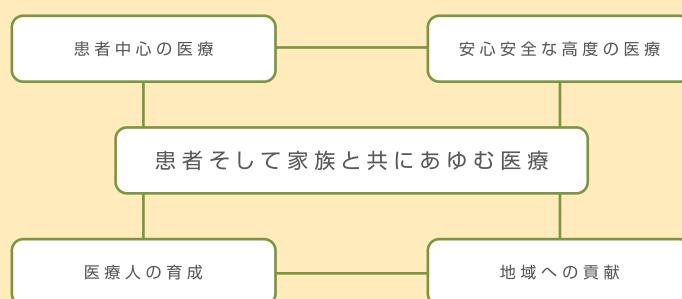




医療連携だより[アシスト] **ASSIST**

2013.1
No.28

帝京大学医学部附属病院



Contents

- 01 新年のご挨拶 帝京大学医学部附属病院 病院長 中込 忠好
- 02 心臓外科手術や心筋梗塞等、大きなダメージを受けたあとは、身体の能力回復が重要です。 副院長・内科学講座教授・循環器内科長・循環器センター長 一色 高明
- 03 このたび病院3Fに心臓リハビリテーションセンターが開設されました。 循環器内科 助教 紺野 久美子
- 04 心臓手術後の疾患管理や運動指導を行う心臓リハビリテーション。 心臓血管外科学講座・主任教授 下川 智樹
- 05 ●れんけいトピックス 第2回帝京大学医療連携セミナー／北江戸循環器塾
- 06 編集後記

33

心臓リハビリテーションセンター
Cardiac Rehabilitation Center

33

心臓リハビリ
テーションセンター
Cardiac Rehabilitation Center

心臓リハビリテーションセンターが開設されました。



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

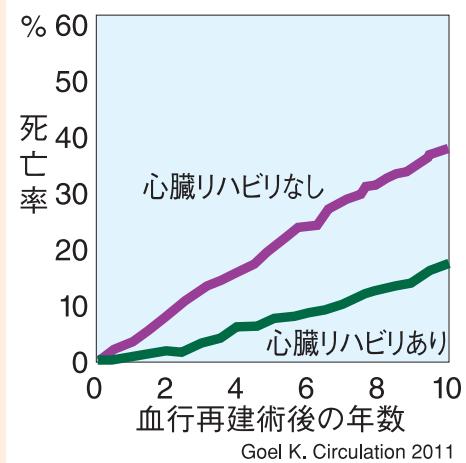
年頭にあたり、日頃より帝京大学医学部附属病院に賜っておりますご協力、ご指導に対し、あらためて厚く御礼申し上げます。当病院は、「救急・急性期医療」「がん治療」、「高度の専門治療」を軸とし、地域の医療関係者の方々と連携し、患者の皆様方によりよい医療をご提供できるよう努力しております。また、地震等の来るべき災害に対しても、地域災害拠点中核病院としてその役割を果たせるよう十分な準備を行っていきます。今後も引き続き、帝京大学医学部附属病院に対する皆様方のご協力、ご支援をお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

帝京大学医学部附属病院
病院長 中込 忠好

Cardiac Rehabilitation

心臓外科手術や心筋梗塞等、大きなダメージを受けたあとは、身体の能力回復が重要です。

副院長
内科学講座教授
循環器内科長
循環器センター長
一色 高明



心臓病に対する治療は近年大きな転換期を迎えてます。特に狭心症や心筋梗塞は、この数十年の間に外科（冠動脈バイパス術）も内科（カテーテル治療）も共に大きな進歩をとげ多くの患者さんの命を救つてきました。しかし、これらの急性期治療のみでは患者さんの長期予後を改善させるには不十分で、日常生活や心臓病の背景となる疾患（高血圧や糖尿病、脂質異常症など）に対する強力な介入が不可欠であることが

再認識されています。心臓リハビリテーションは大きな注目を浴びているものの一つです。心臓外科手術や心筋梗塞のように身体に大きなダメージを受けたあとに、心臓のみならず身体の能力を早期に回復させることの重要性が再認識されているのです。心臓リハビリテーションをおこなうことによって、長期的な死亡率に大きな開きができることが明らかにされています（図参照）。また、日々の健康状態が回復していく様子

を感じじうことができる事が、患者さんの生活態度を前向きにさせるという点でも心臓リハビリテーションの意義は極めて大きいものと思われます。

そのような背景の中で、帝京大学病院は昨年11月に本格的な心臓リハビリテーション施設を開設しました。開設にあたっては、リハビリを続けたくなる、続けて通ってきたくなる、そんな雰囲気作りにこだわりました。運動療法を行なうための機器は最新鋭のものを選びました。運動中には音楽を聞いたり、映像を眺めたりで

できるように、大型のTVモニターを前面に配置しました。カウンセリングや小グループの講義を受けることができるスペースも用意しています。全体の内装は華美になりすぎないように落ち着いた雰囲気のものとしました。開設して2ヶ月あまりですが、ご利用の皆様には大変なご好評を頂いています。心臓リハビリテーションを希望する方が当初の予想よりも大きかったことから、今後は段階的にスタッフの人数を増やして対応していく予定です。帝京大学病院の心臓リハビリテーションセンターを利用していただきくことにより、一人でも多くの心臓病の患者さんが前向きで健康的な生活を取り戻していただけることを願つてやみません。

PROFILE

副院長・内科学講座教授
循環器内科長・循環器センター長 **一色 高明**

1975年東北大学医学部卒業。1981年に東京大学医学部第一内科助手。1986年から米国・ニューオリンズAlton Ochsner Medical Foundationに留学。1988年に帰国後、三井記念病院循環器センター内科科長、1992年帝京大学医学部第二内科助教授、1999年同教授、現在は附属病院循環器センター長を務める。

専門領域は急性心筋梗塞・不安定狭心症、冠インテーベンション、抗血小板療法。



Cardiac Rehabilitation

このたび病院3Fに
心臓リハビリテーションセンターが
開設されました。

循環器内科 助教
紺野久美子

心臓リハビリテーションは、心臓機能が低下した患者さんや、心臓外科手術後の患者さんを対象として行われるもので、運動療法を中心に行いつつ、食事・服薬指導やカウンセリングなどを統合的計画的に実施していくことによつて、心肺機能を高め、生活の質を改善させることを目的とするものです。

帝京大学病院における心臓リハビリテーションは、これまで4階の循環器センターの隣の限られたスペースで、入院患者さんに限定して行われていましたが、今回センター開設に伴い、11月1日から外来患者さんにも対象を拡大しました。これにより、入院中の患者さんは、急性期のプログラムから開始し、退院直後から外来通院リハビリテーションに移行し、その後慢性期の維持期リハビリテーションへとつないでいくことにより、急性期から慢性期まで

切れ目のないプログラムが構築できようになりました。

当センターでは有酸素運動機器を4台、筋力トレーニング機器を5台設置しており、患者さんは医師の運動処方のもと、個々の心機能や体力に合わせた運動プログラムを実施します。また、理学療法士によるストレッチ運動やバ

ランスボールなどを使用した集団運動療法も行い、患者さん同士のコミュニケーションの場も提供します。看護面談では日常生活についてお話し、必要があれば栄養指導を受けて頂くこともあります。

重い心臓病に悩む患者さんが、健康的な生活を取り戻すためのお手伝いができるよう、私どもスタッフも頑張って行きたいと

思います。心臓リハビリテーシ



PROFILE

循環器内科 助教 紺野久美子

2002年3月 帝京大学医学部卒業後、帝京大学医学部附属病院内科にて2年間の研修を経て、帝京大学大学院へ進学
2008年4月 帝京大学医学部附属病院内科学講座に入局現在に至る

専門分野:循環器一般、循環器画像診断、心臓リハビリテーション、血管内イメージング



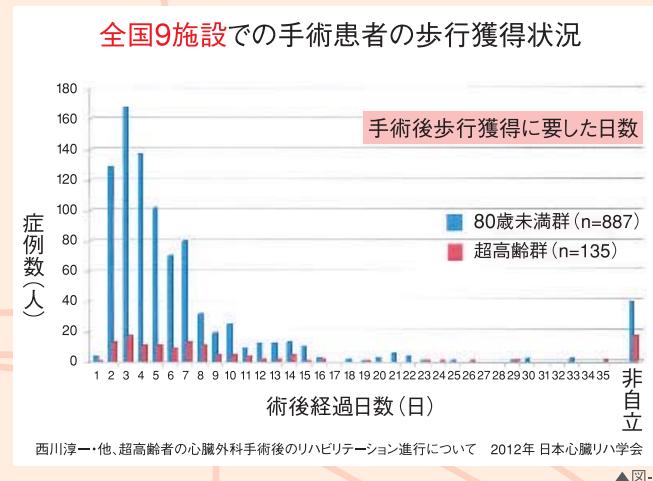
Cardiac Rehabilitation

心臓手術というと私が医者になつた頃は1ヶ月以上入院期間があり、手術後は退院まで安静にして過ごすのが一般的でした。しかし長期安静により術後特有の合併症が増加すると報告され、近年では術後早期から心臓リハビリを導入し離床を進めるようになります(図1参照)。

当院では循環器内科の一色教授と協力して専任の西川技師のもと2010年に心臓リハビリを導入しました。手術後のすべての患者さんに心臓リハビリを行うことで、全国の主要な心臓外科施設と遜色なく手術後の離床が進んでいます。一般に高齢患者では手術後の回復が遅く歩行も遅延すると言われていますが、当院では80歳以上の高齢患者も積極的に心臓リハビリを行なうとともに、心臓リハビリの効果を示す報告がなされています。術後状態や生活状況は個々の患者と同様に回復し歩行することができなくなっています(図2参

心臓手術後の疾患管理や運動指導を行つ 心臓リハビリテーション。

心臓血管外科学講座
主任教授
下川 智樹



▲図-1

手術患者の離床進行状況



	80歳以上の 超高齢者	80歳未満群	p値
座位開始	帝京大学 (全国) 1.9±1.5 (1.9±1.6)	1.7±1.3 (1.9±2.0)	n.s. (n.s.)
立位開始	帝京大学 (全国) 2.1±1.9 (2.2±1.8)	2.0±1.1 (2.2±2.5)	n.s. (n.s.)
歩行開始	帝京大学 (全国) 3.2±2.3 (3.3±2.9)	3.0±2.3 (3.0±4.3)	n.s. (n.s.)
歩行自立	帝京大学 (全国) 5.9±3.8 (6.8±5.4)	5.5±2.6 (5.2±4.0)	p<0.001

※非自立群は除外

西川淳一・他、超高齢者の心臓外科手術後のリハビリテーションについて 2012年 日本心臓リハ学会

▲図-2

PROFILE

心臓血管外科学講座主任教授 下川 智樹

平成4年佐賀医科大学卒業。佐賀医科大学胸部外科に入局し、榎原記念病院専修医、佐賀医科大学胸部外科医員、榎原記念病院心臓血管外科医長を経て平成21年9月より現職。

手術実績(執刀数):心臓大動脈手術:

2043例(2002年5月～2012年10月)

ホームページ:<http://www.teikyo-cvs.com/>



ていくことも、心臓リハビリの役割です。退院後に自信を持つて生活を送るために、ぜひ外来心臓リハビリに参加してください。専門スタッフが個々の状態に合わせて身体機能や心理面の回復をサポートします。病気に対する知識を深め自己管理をすることで、再発予防にもつながります。

「心臓手術を受けて元気になれますか?」という質問を患者さんから受けます。帝京大学病院には皆さんをサポートする心臓リハビリのスタッフがいます。元気になるために何をしたらいいのかをお伝えします。残された心機能の

中でじこまで元気になれるのかを一緒に探してくれます。我々はたくさんの元気になられた患者さんを経験しています。安心して手術が受けられるように、心配なく手術後の生活が送れるように、心臓血管外科と心臓リハビリーションの専門スタッフがサポートいたします。

帝京大学病院では地域医療連携発展の為に 学術講演会を充実させております！

第2回帝京大学医療連携セミナー

平成24年10月31日(水) 19:00より ホテルメトロポリタン 3F「富士」



▲榎原記念病院 循環器内科部長 長山 雅俊 先生

第2回帝京大学医療連携セミナーでは、循環器系をテーマに、「予後改善を目指して!!」と題しまして、特別講演に榎原記念病院循環器内科部長 長山 雅俊先生をお招きして「心臓リハビリと医療連携」についてご講演いただきました。地域の医療機関の皆様に、安心して満足いただけるような病院を目指して、精進して参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

第2回帝京大学医療連携セミナーでは、循環器系をテーマに、「予後改善を目指して!!」と題しまして、特別講演に榎原記念病院循環器内科部長 長山 雅俊先生をお招きして「心臓リハビリと医療連携」についてご講演いただきました。地域の医療機関の皆様に、安心して満足いただけるような病院を目指して、精進して参りましたことを、この場を借りて厚く御礼申上げます。さて、今回の



▲第3回北江戸循環器塾風景

北江戸循環器塾



当院循環器内科・医療連携室では、平成23年6月28日に開催した第1回を皮切りに、当院と板橋区に開業されております医療機関の先生方を中心とした、「二人主治医制」の確立を目的に症例検討会を行っております。実際に紹介を行った患者さんの症例をもとに、より密接な連携が図れるよう、「北江戸循環器塾」では様々な意見交換が行われております。

講演会情報 <http://www.teikyo-u.ac.jp/hospital/index.html>
お問い合わせ：医療連携室 03-3964-9830（直通）

帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約^{*}ができます。
なお、紹介状のない方は直接ご来院ください。※前日までにお電話ください

受診までの流れ



帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



帝京大学医学部附属病院
予約専用(医療連携室)
03-3964-1498

予約受付 平日 8:30~17:00
時 間 土曜日 8:30~12:30

初診受付

診療受付時 間	平 日 (予約あり) 8:30~14:30 (予約なし) 8:30~11:30 13:00~14:30
	土曜日 8:30~11:30

紹介状をお持ちの患者さん

- ①予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。
電話予約の際にご確認させていただく項目
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ②予約完了
- ③当時は15分前までに初診受付までお越しください。

紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎初診受付
診療受付時間 平日 8:30~11:30/13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30
直接初診受付へお越しください。

アクセスマップ



- JR埼京線 「十条駅」より徒歩10分
- 地下鉄都営三田線 「板橋本町駅」より徒歩13分
- 国際興業バス 王子駅↔→板橋駅 「帝京大学病院前」下車
赤羽駅西口↔→王子駅 「上十条4丁目」下車徒歩3分
赤羽駅東口↔→高円寺駅 「姥ヶ橋」下車徒歩5分
王子駅↔→上板橋駅 「姥ヶ橋」下車徒歩5分
- 都営バス 王子駅↔→新宿駅西口 「姥ヶ橋」下車徒歩5分
- タクシー 十条駅より基本料金内
- 車 地下駐車場を完備 (221台収容可能【有料】)
※入院手続や外来診療でお越しの方は 100分間無料(以後25分毎100円)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては年末年始いかがお過ごしだったでしょうか。

本学では、お正月の風物詩「箱根駅伝」にて躍進の4位。また、ラグビーでは「大学選手権」にて前人未到の4連覇を達成するなど、皆様もテレビや新聞などで、「帝京大学」の文字を見る機会が多くかったのではないでしょうか。

帝京大学医学部附属病院としては、学生スポーツのチームワークと同様に「チーム医療」をより推進して参りたいと存じますので、本年も宜しくお願ひ申し上げます。

病院機能評価Ver.6.0認定

特定機能病院

地域がん診療連携拠点病院

東京都災害拠点病院

帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代)

お問い合わせ E-mail / renkei@med.teikyo-u.ac.jp



医療連携だより [アシスト]
ASSIST